

Windows9X/Me/NT/2000対応

**B-374,B-474,B-874,B-433,B-458,
B-484,B-858,CB-418-T3**

プリンタドライバ概略説明書

第6版 2001年7月

東芝テック株式会社

目 次

はじめに	2
1.概要	2
1.1 特長	
1.2 対象プリンタ	
1.3 動作条件	
2.インストール手順	3
2.1 前準備	
2.2 Windows95/98/Meへのインストール	
2.3 WindowsNT4.0へのインストール	
2.4 Windows2000へのインストール	
2.5 削除	
3.機能	8
3.1 印刷条件の設定	
3.2 用紙設定	
3.3 グラフィックスの設定	
3.4 オプション設定	
3.5 バーコードプリンタの動作確認	
3.6 地域設定	
3.7 バーコードの設定	
3.8 プリンタフォントの指定	
4.システム構成	26

はじめに

本書は、東芝テック製バーコードプリンタ用TPCLタイプ^(*)プリントドライバ(型番 BDRV-WBX8-Z31, バージョン: V6.5 Build46)の、インストール・機能等の概要を記載した説明書です。プリントドライバをご使用になる前や、ご使用いただいたて不明な点があったときなどに、本書を覗ください。

^(*) TPCL : TEC Printer Control Languageの略

1.概要

1.1 特長

本プリントドライバはWindows95/98/Me, WindowsNT4.0, Windows2000環境下で東芝テック製バーコードプリンタをご使用いただくための専用プリントドライバです。

- ・Windowsアプリケーションからの印刷が簡単に行えます。
- ・バーコードプリンタ固有の命令(制御コマンド)を知ることなく、レーザーやインクジェットプリンタなどのOA用プリンタと同じように使用できます。
- ・バーコードプリンタ特有の、ラベルサイズ、透過/反射センサー、カット印刷などの設定をプロパティ画面により簡単に行うことができます。
- ・バーコードプリンタとの接続はパラレルポート(セントロニクス)で接続します。プリンタサーバー機器にバーコードプリンタを接続することにより(B-458の場合、オプションLANボードで接続)、バーコードプリンタをネットワーク上の共有プリンタとしてご利用いただけます。
- ・文字フォントは、WindowsのTrueTypeフォントはもちろん、バーコードプリンタ内蔵のプリントフォントもご利用いただけます。
- ・バーコード及び2次元コードは、プリントドライバにて印刷したいコードをフォント登録することにより、アプリケーションから簡単にご利用いただけます。
- ・ラインをバーコードプリンタの描画機能により印刷することができます。

1.2 対象プリンタ

モノクロプリンタ:

B-374-TS15, B-474-TS15, B-874-TS15 / TS25

B-433-GS15 / TS15, B-458-TS13 / TS23

B-484-TS15, B-858-TS15

B-458-HS13(『銘板シールプリントシステム』,『プリントシステム B-458-HS13用』)には、本プリンタドライバをご使用ください。)

カラープリンタ:

CB-418-T3(『カラープリントシステム』には、本プリンタドライバをご使用にならないでください。

CB-418-T3専用プリンタドライバ 型番 BDRV-CT3-W95/NTをご使用ください。)

1.3 動作条件

本プリンタドライバは以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

ソフトウェアOS)

日本語 Windows 95, 日本語 Windows 98, 日本語 Windows Me

日本語 Windows NT Workstation 4.0, 日本語 Windows NT Server 4.0

日本語 Windows 2000 Professional, 日本語 Windows 2000 Server

ハードウェア

Intel社製CPU Pentium(133MHz以上)相当のCPUを搭載し、上記のWindowsが動作するDOS/V機(IBM ATコンパチブル)。32Mバイト以上のシステムメモリ及び3.5"ディスクドライブ、10Mバイト以上の空きがあるハードディスクが必要。

推奨条件

プロセッサ: Pentium 200MHz 以上

システムメモリ: 64Mバイト以上

2. インストール手順

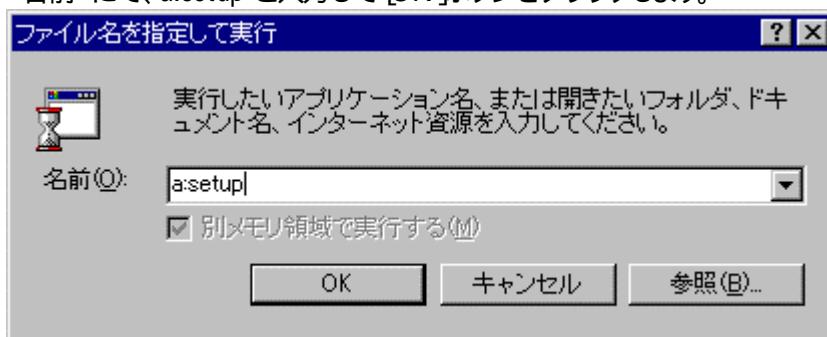
注) プリンタドライバをバージョンアップする場合、旧バージョンのプリンタドライバを削除してから、バージョンアップ版プリンタドライバをインストールしてください。(2.5 削除 を参照の事)

2.1 前準備

プリンタドライバ セットアップ用FD “ディスク1”をフロッピーディスクドライブに挿入します。

スタートボタンをクリックして“ファイル名を指定して実行”を選択します。

“名前”にて、a:setup と入力して [OK] ボタンをクリックします。



“TOSHIBA TEC PRINTER DRIVER”セットアップウィザードが起動されます。[次へ >] ボタンをクリックします。

「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。契約に同意する場合、[はい]をクリックします。

インストール先フォルダ ‘C:\TEC_DRV’ が表示されます。[次へ >] ボタンをクリックします。

ディスク2の挿入メッセージが表示されたら、プリンタドライバ セットアップ用FD “ディスク2”をフロッピーディスクドライブに挿入して、[OK] ボタンをクリックします。

セットアップが終了したら [完了] をクリックします。

2.2 Windows95/98/Meへのインストール

[スタート]メニュー [設定] [プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。

[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックして、プリンタウィザードを起動します。

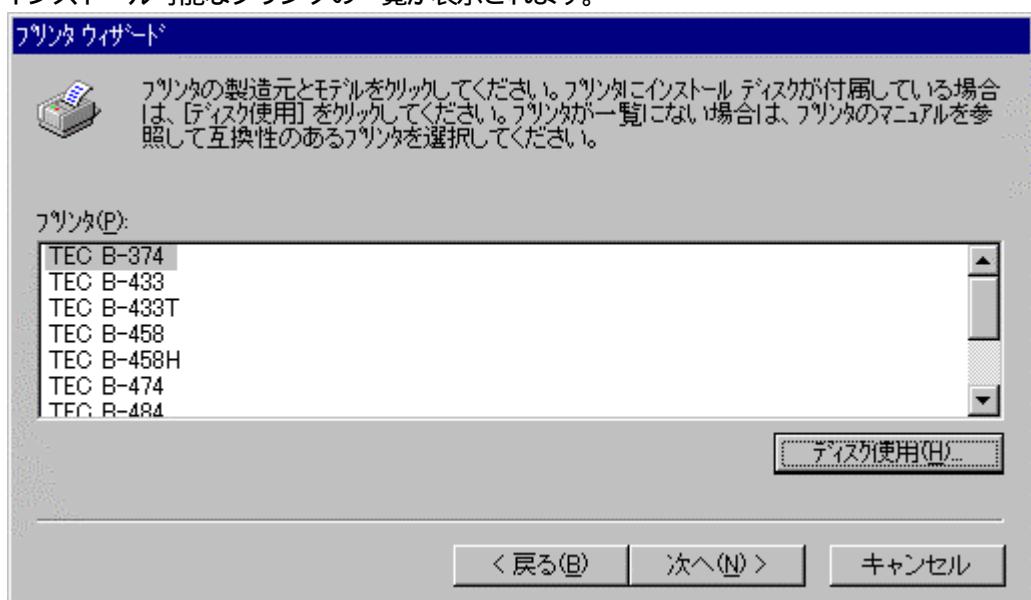
[次へ]ボタンを押し、インストールを開始します。

ローカルプリンタまたは、ネットワークプリンタを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

[ディスク使用(H)...]ボタンをクリックします。

2.1. 前準備でセットアップしたフォルダ (C:\TEC_DRV)を指定して [OK]ボタンをクリックします。

インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。



TEC B-374	:	B-374-TS15
TEC B-433	:	B-433-GS15
TEC B-433T	:	B-433-TS15
TEC B-458	:	B-458-TS13 / TS23
TEC B-458H	:	B-458-HS13
TEC B-474	:	B-474-TS15
TEC B-484	:	B-484-TS15
TEC B-858	:	B-858-TS15
TEC B-874	:	B-874-TS15 / TS25
TEC CB-418-T3	:	CB-418-T3

インストールする機種を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。

“現在のドライバを使用する”、“新しいドライバに置き換える”選択において、“新しいドライバに置き換える”を選択して、[次へ]をクリックします。

(初めてインストールする場合、この操作は省略されます。)

プリンタに使用するポートを選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。

プリンタ名及び、通常のプリンタとして使用するかしないかを決め、[次へ>]ボタンをクリックします。

Windows95/98で本プリンタドライバをご使用になる場合、“通常のプリンタとして使用する”を選択すると、プリンタのプロパティを開く時間が早くなります。

テストページの印刷は“いいえ”を指定し、[完了]ボタンをクリックします。インストールを開始します。

インストールが終了すると、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

2.3 WindowsNT4.0へのインストール

プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログオンします。

[スタート] [設定] [プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。

[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。

“このコンピュータ(M)”を選択し、[次へ]をクリックします。

プリンタに使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。

製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。

2.1. 前準備でセットアップしたフォルダ (C:\TEC_DRV)を指定して[OK]ボタンをクリックします。

インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

TEC B-374	:	B-374-TS15
TEC B-433	:	B-433-GS15
TEC B-433T	:	B-433-TS15
TEC B-458	:	B-458-TS13 / TS23
TEC B-458H	:	B-458-HS13
TEC B-474	:	B-474-TS15
TEC B-484	:	B-484-TS15
TEC B-858	:	B-858-TS15
TEC B-874	:	B-874-TS15 / TS25
TEC CB-418-T3	:	CB-418-T3

インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。

“現在のドライバを使用する”、“新しいドライバに置き換える”選択において、“新しいドライバに置き換える”を選択して、[次へ]をクリックします。

(初めてインストールする場合、この操作は省略されます。)

通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。

テストページの印刷をするかしないかを選択し、[完了]ボタンをクリックします。インストールを開始します。

インストールが終了すると、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

共有プリンタにて印刷する場合

上記 ~ を行います。

新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプロパティを開きます。

[ポート]タブをクリックし、[ポートの追加(T)...]をクリックして、“Local Port”を選択し [新しいポート]ボタンをクリックします。

共有設定したプリンタのネットワークパス (例：*****\\b-458)を入力しOKボタンをクリックします。

ポートの設定が終了したら [OK]ボタンをクリックしプロパティを閉じます。

2.4 Windows2000へのインストール

プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログオンします。

[スタート] [設定] [プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。

[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。

「プリンタの追加ウィザードの開始」画面にて、[次へ]をクリックします。

“ローカルプリンタ(L) ”を選択し、[次へ]をクリックします。

「プラグ アンド プレイプリンタを自動的に検出してインストールする (A)」は、チェックしないでください。

プリンタに使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。

製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。

2.1. 前準備でセットアップしたフォルダ C:\TEC_DRV)を指定して [OK] ボタンをクリックします。

インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

TEC B-374	:	B-374-TS15
TEC B-433	:	B-433-GS15
TEC B-433T	:	B-433-TS15
TEC B-458	:	B-458-TS13 / TS23
TEC B-458H	:	B-458-HS13
TEC B-474	:	B-474-TS15
TEC B-484	:	B-484-TS15
TEC B-858	:	B-858-TS15
TEC B-874	:	B-874-TS15 / TS25
TEC CB-418-T3	:	CB-418-T3

インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。

「現在のドライバを使う」、「新しいドライバに置き換える」選択において、「新しいドライバに置き換える」を選択して、[次へ]をクリックします。

(初めてインストールする場合、この操作は省略されます。)

通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。

テストページの印刷をするかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。

「プリンタの追加ウィザードを完了しています」画面にて、[完了]ボタンをクリックします。

注) デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります、その場合は
[はい]をクリックします。

インストールを開始します。

インストールが終了すると、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

共有プリンタにて印刷する場合

上記 ~ を行います。

新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプロパティを開きます。

[ポート]タブをクリックし、[ポートの追加(T)...]をクリックして、"Local Port"を選択し [新しいポート]ボタンをクリックします。

共有設定したプリンタのネットワークバス(例： ¥ ¥ ***** ¥ b-458)を入力しOKボタンをクリックします。

ポートの設定が終了したら [OK] ボタンをクリックしプロパティを閉じます。

2.5 削除

A. 前準備でセットアップした情報の削除方法

[スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] を起動します。

“セットアップと削除” タブのプログラム一覧から、‘テックプリントドライバインストール用ファイル’を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。

“ファイル削除の確認” ウィンドウにて削除するファイルを確認後、[はい] ボタンをクリックします。

‘アンインストールが完了しました’が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

B. プリンタドライバの削除方法

[スタート] [設定] [プリンタ] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。

削除するプリンタドライバのアイコンを選択後、[ファイル] メニューの中から ‘削除’ をクリックします。

3.機能

プリンタドライバの機能設定は、プリンタアイコンの“プロパティ”または“ドキュメントの既定値(Windows NT4.0の場合)”,“印刷設定(Windows2000の場合)”で行います。

WindowsNT4.0,Windows2000をご使用の場合

“ドキュメントの既定値”,“印刷設定”で設定できる項目 用紙,グラフィック,印刷条件,オプション
“プロパティ”で設定できる項目 地域設定,バーコードフォント,デバイス設定

(参考)

- ・アプリケーション内の印刷ダイアログボックスからもプリンタドライバの一部機能の設定ができますが、その場合、プリンタドライバの設定変更は一時変更的に扱われることがありますので、ご注意ください。
- ・Windows95の環境で、アプリケーションから印刷するプリンタを切り換えた後、プリンタのプロパティの設定項目を一時変更した際、“アプリケーションエラー”になってしまう場合は、[用紙]タブの[高度な設定]において“ユーザー命令を有効にする”的チェックを外して下さい。
- ・Windows95/98の環境で、プロパティを開く際の時間がかかる場合、プリンタアイコンを右クリックして“通常使うプリンタに設定”を選択しておくと、プリンタのプロパティを開く時間が早くなります。

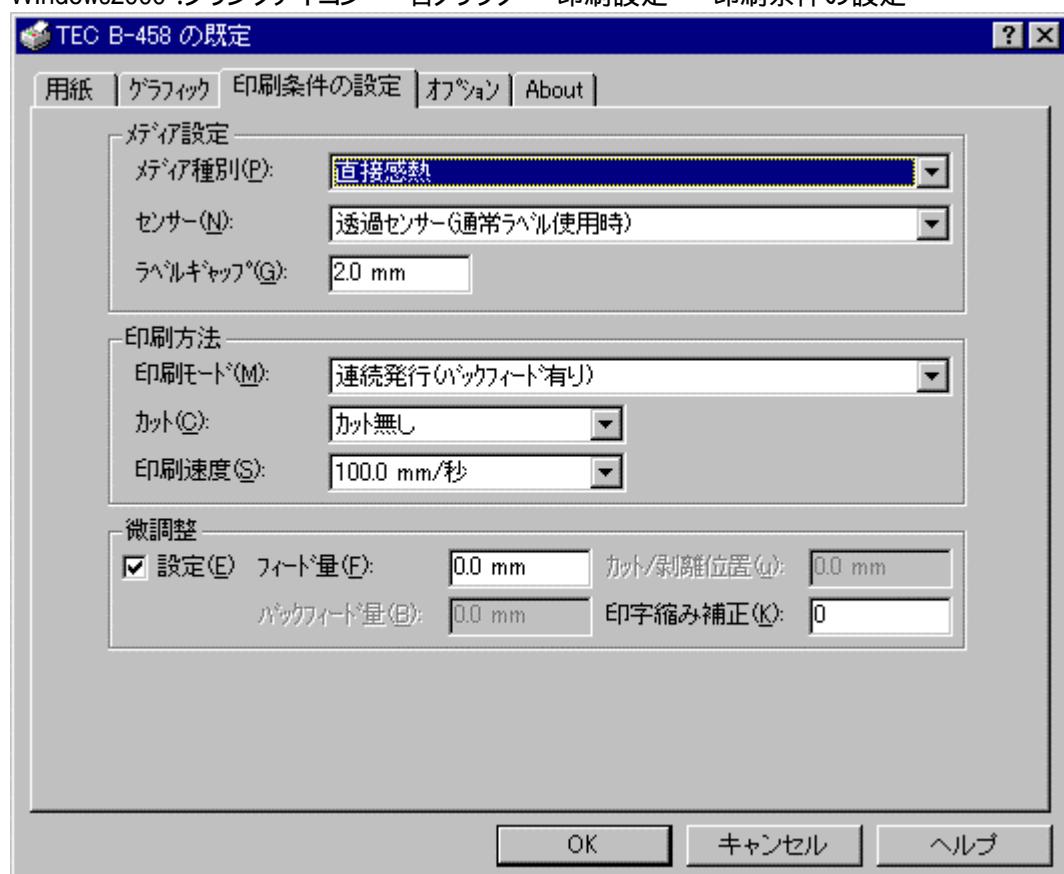
3.1 印刷条件の設定

「印刷条件の設定」タブをクリックして、バーコードプリンタ固有の印刷条件に関する設定を行います。

Windows95/98/Me : プリンタアイコン 右クリック プロパティ 印刷条件の設定

WindowsNT4.0 : プリンタアイコン 右クリック ドキュメントの既定値 印刷条件の設定

Windows2000 : プリンタアイコン 右クリック 印刷設定 印刷条件の設定



(WindowsNT4.0での画面例)

メディア種別

メディア(用紙)の印刷方式の種別を選択します。

メディア種別:

モノクロプリンタの場合

- ・“直接感熱”
- ・“熱転写 (リボンセーブ無し)”
- ・“熱転写 (リボンセーブ)”
(B-458, B-858はリボンセーブ機能はありません)

カラープリンタの場合

- ・“熱転写 (リボンセーブ無し)”
- ・“熱転写 (リボンセーブA)”

各ヘッドのリボンについて、印字エリアが、用紙送り方向に対しても32mm (プレミアムリボンの場合40mm) 以上データがない場合に、印字ヘッドを上げてリボンを送らないようにしてリボンを節約します。

- ・“熱転写 (リボンセーブB)”

各ヘッドのリボンについて、印字エリアがあるヘッドのみヘッドダウンして、印字終了までヘッドアップしません。

センサー

センサーの種別を選択します。

センサー種別:

- ・“センサー無し”
- ・“反射センサー (通常ラベル使用時)”
- ・“透過センサー (通常ラベル使用時)”
- ・“透過センサー (手動スレッショルド値使用時)”
- ・“反射センサー (手動スレッショルド値使用時)”

- ・“透過センサー(衣料用タグ使用時)”

“透過センサー(手動スレッショルド値使用時)”, “反射センサー(手動スレッショルド値使用時)”は、プリンタのスレッショルド設定操作(キー操作)にて、使用するセンサーのスレッショルドの設定を行なった場合に選択します。

“透過センサー(衣料用タグ使用時)”はB-433のみ。

ラベルギャップ

ラベル間ギャップの大きさを設定します。

タグの場合、印刷しない領域を設定します。

印刷モード

印刷モードを選択します。

印刷モード:

- ・“連続発行(バックフィード有り)”
- ・“剥離発行(バックフィード有り)”

剥離機構を装着し、剥離発行する場合、“剥離発行(バックフィード有り)”を選択します。

それ以外の場合、“連続発行(バックフィード有り)”を選択します。

カット

カットする・しないを設定します。カットする場合、カットするタイミングを選択します。

印刷モードが“剥離発行”の場合、“カット無し”以外は選択できません。

カット種別:

- ・“カット無し”
- ・“1枚毎カット”
- ・“印刷ジョブの最後でカット”
- ・“指定の間隔でカット”

一定間隔でカットする場合、“指定の間隔でカット”を選択して、“カット間隔”を入力します。

印刷速度

印刷速度を選択します。

バーコードプリンタの機種により、選択できる速度が異なります。

微調整

“設定”をチェックすると、各動作の微調整値を設定できます。

設定項目:

- ・“フィード量”
- ・“リバックフィード量”
- ・“カット/剥離位置”
- ・“印字縮み補正”

用紙搬送方向の印刷の縮みを調整する場合、“印字縮み補正”に値を入力します。

バーコードプリンタの機種により、設定できる項目が異なります。

3.2 用紙設定

「用紙」タブをクリックして、用紙サイズや印刷向きなど用紙に関する設定を行います。

Windows95/98/Me :プリンタアイコン 右クリック プロパティ 用紙

WindowsNT4.0 :プリンタアイコン 右クリック ドキュメントの既定値 用紙

Windows2000 :プリンタアイコン 右クリック 印刷設定 用紙



(WindowsNT4.0での画面例)

名前

用紙サイズとして登録された名前から、既定とする用紙サイズを選択します。

また、編集または削除する用紙サイズの名前を選択します。

用紙サイズ新規登録,編集,削除

「新規」,「編集」,「削除」の各ボタンにより、用紙サイズのメンテナンスを行います。

用紙サイズの編集

用紙サイズの登録数の制限はありません。

用紙サイズデータのインポート,エクスポート...

東芝テック製バーコードプリンタのプリンタドライバをインストールした他のPCと 用紙サイズ情報データ (*.sfm)を、インポート(読み込み)及びエクスポート(読み出し)できます。(ロングファイル名(9バイト以上)は未対応)

印刷の向き

印刷の向きを選択します。「縦」が頭出し印刷、「縦180°」が尻出し印刷を意味します。

「横」は「縦」を90°回転した印刷向きとなります。

印刷向き:

- ・「縦」
- ・「横」
- ・「縦180°」
- ・「横180°」

効果

“ミラーイメージ”, “ネガ”から選択できます。

バーコードプリンタの機種により、選択できる項目が異なります。

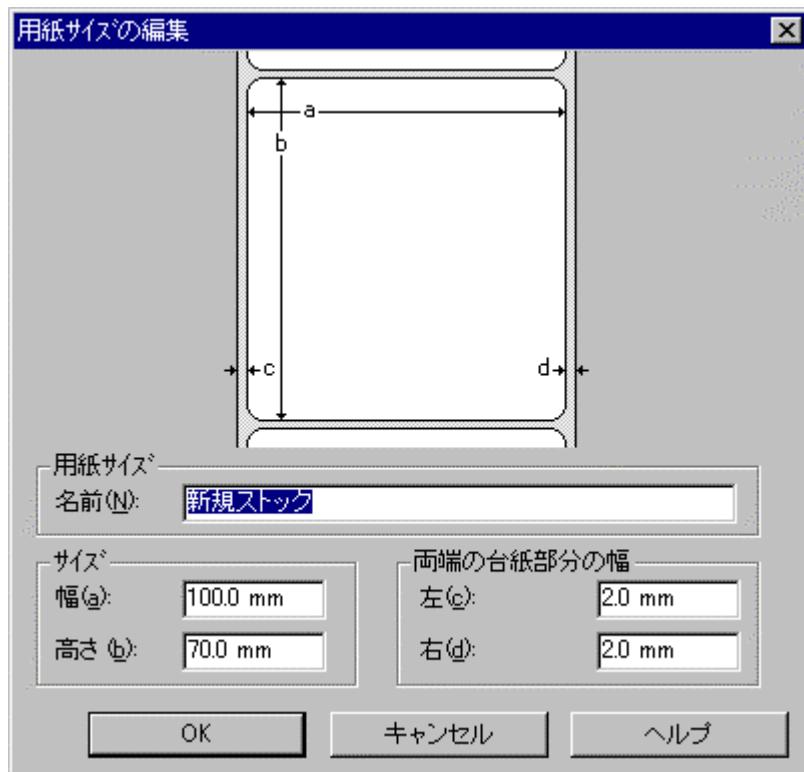
部数

部数印刷の規定値を設定します。

注 共有プリンタへ印刷する場合、印刷指示を行うクライアントPCに、“印刷向き”や“用紙サイズ”を登録してください。共有プリンタ側に用紙サイズを登録しても、クライアント側と用紙サイズを共有して使用することはできません。

用紙サイズ編集

「用紙」タブの“新規”または“編集”ボタンにより、用紙サイズの編集を行います。



名前

“新規”の場合、用紙サイズの名前を任意につけることができます。（2バイト文字も可）

幅, 高さ

用紙の幅と高さを入力します。

両端の台紙部分の幅

左右の台紙のはみ出した部分の幅を入力します。（左右同じ値になります）

高度な設定

「用紙」タブの「高度な設定」ボタンにより、印刷に関する応用的な設定を行います。



ユーザーコマンド列の記述

「ジョブの開始」, 「ジョブの終了」, 「ラベルの開始」, 「ラベルの終了」の各タイミングに、バーコードプリンタのプリンタコマンド列を記述することができます。

プリンタドライバの設定でカバーできないプリンタ動作などを、コマンド列で記述してください。

(外部機器インターフェースマニュアル(非売品)を参照のこと)

Windows95の環境で、アプリケーションから印刷するプリンタを切り換えたり、プリンタのプロパティの設定項目を一時変更した際、アプリケーションエラーになってしまふ場合は、[ユーザーコマンドを有効にする]のチェックを外して下さい。

ドライバ設定のインポート, エクスポート

東芝テック製バーコードプリンタのプリンタドライバをインストールした他のPCと、ドライバ設定値のデータ (*.sdm)を、インポート(読み込み)及びエクスポート(読み出し)できます。(ロングファイル名(9バイト以上)は未対応)

([ユーザーコマンドを有効にする]がチェックされている場合のみ有効になります。)

ライン描画

「プリンタによるライン描画」をチェックすると、バーコードプリンタのライン描画機能を使ってラインを印刷することができます。(印刷スループットの向上が見込めます)

「最小の長さ」は、バーコードプリンタのライン描画機能で描画させるラインの最小値です。「最小の長さ」で設定した値より短いラインは、OSの描画機能により印刷されます。

注) 使用するアプリケーションにより、このライン描画機能がうまく動かない場合があります。

その場合、チェックをはずしてご使用ください。

印字不可領域

本機能は未対応です。

3.3 グラフィックの設定

「グラフィック」タブをクリックして、ディザリングの選択や色の調整を行います。

Windows95/98/Me : プリンタアイコン 右クリック プロパティ グラフィック

WindowsNT4.0 : プリンタアイコン 右クリック ドキュメントの既定値 グラフィック

Windows2000 : プリンタアイコン 右クリック 印刷設定 グラフィック



(WindowsNT4.0での画面例)

ディザリング

グラフィック印刷時の、描画(ディザリング)パターンの選択が行えます。

ディザリング:

- ・なし
- ・ハーフトーン
- ・オーダード
- ・代数法
- ・誤差拡散法

【ディザリングのセットアップ】をクリックすると、数種類のアルゴリズムの中から選択できます。アルゴリズムはディザリングパターンによって違います。

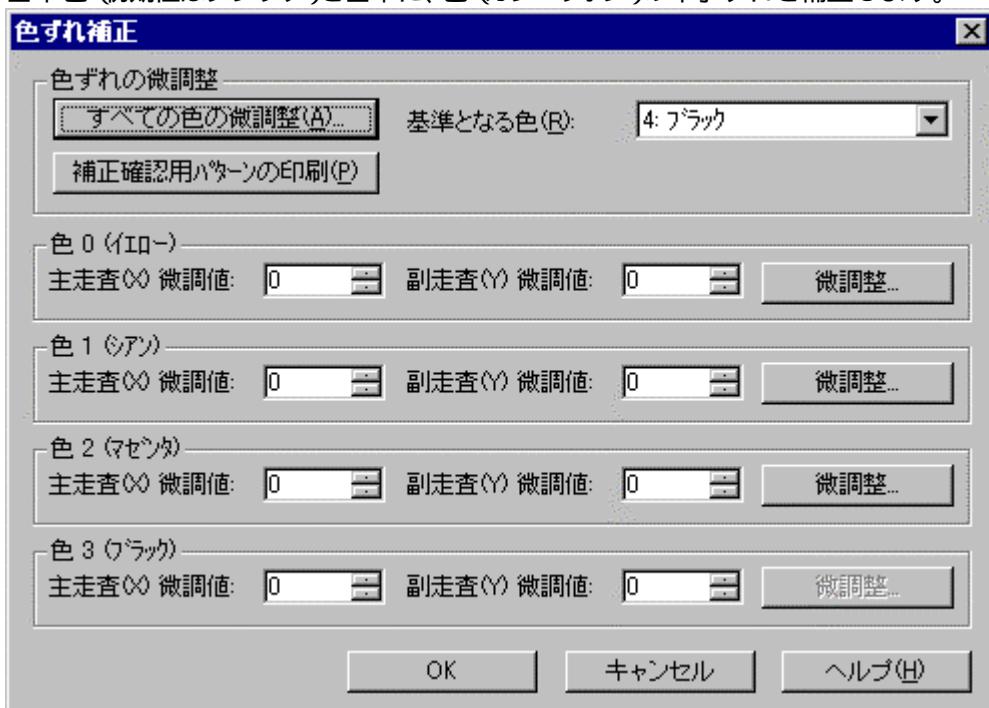
色

モノクロプリンタは、設定できません。

カラープリンタCB-418-T3では、色の制御、レンダリングインテントの選択、及び、色ずれ補正、スポットカラーの設定が行えます。

色ずれ補正 (カラープリンタのみ可)

基本色 (初期値はブラック)を基準に、色 (カラーリボン)の印字ずれを補正します。



[すべての色の微調整 (A)]、[微調整] ボタンをクリックすると、微調整設定画面が表示され、調整用パターンがCB-418から印刷されます。印刷された調整パターンを目視し、微調整設定を行います。

スポットカラーの設定 (カラープリンタのみ可)

プロセスカラー、スポットカラーの選択と、スポットカラーの選択時の色選択を行います。



カラー設定にて、4 ヘッドの内の3色 (CMY)または4色 (CMYK)によるプロセスカラー (リボンの重ね合せ印刷) と、スポットカラーの選択が可能です。

注)プロセスカラー選択において、黒い文字やバーコードなどをグラフィックで印刷する場合 (プリンタ内蔵フォントを使用しない場合) CMYKの選択をお勧めします。CMYを選択すると、黒はCMY3色重ね合せで印刷されます。

3.4 オプションの設定

「オプション」タブをクリックします。

Windows95/98/Me :プリンタアイコン 右クリック プロパティ オプション

WindowsNT4.0 :プリンタアイコン 右クリック ドキュメントの既定値 オプション

Windows2000 :プリンタアイコン 右クリック 印刷設定 オプション



(WindowsNT4.0での画面例)

グラフックスデータ転送方式

モノクロプリンタの場合

「転送モード」にて、グラフックスデータの転送方式を選択できますが、「TOPIX圧縮」方式を選択してお使いください。

TOPIX圧縮に未対応の機種をお使いの場合、「ヘキサモード上書描画」方式を選択してください。

TOPIX圧縮対応機種：

B-374-TS15 ROMバージョンV2.4以降

B-474-TS15 ROMバージョンV2.4以降

B-874-TS15 ROMバージョンV1.3以降

B-433,B-458,B-874-TS25,B-484,B-858の全バージョン

カラープリンタの場合

「転送モード」にて、グラフックスデータの転送方式を選択できますが、「擬似ランレングス圧縮」方式を選択してお使いください。

印刷濃度調整

「設定」をチェックすると、印刷時のヘッド電圧の値を「直接感熱」、「熱転写」それぞれ設定できます。

カラープリンタの場合、[1]イロー、[2]マゼンタ、[3]シアン、[4]ブラック ヘッドの電圧調整が設定できます。

オートフィード

「設定」をチェックすると、「フィード調整」にて印刷後に自動的に紙送りする量を設定できます。

印刷開始時には、自動的に印字開始位置までバックフィードします。

3.5 バーコードプリンタの動作確認

「デバイス設定」タブをクリックして、バーコードプリンタの動作確認を行います。

Windows95/98/Me, NT, 2000 : プリンタアイコン 右クリック プロパティ デバイス設定



(WindowsNT4.0での画面例)

・メンテナンス

テストラベルの印刷

プリンタの動作チェックを行います。プリンタドライバ側で設定されている印刷条件(用紙サイズ、位置微調、センサー種別等)で、テストラベルを印刷します。

サーマルヘッド断線チェック

サーマルヘッドの断線チェックを行います。(B-458-TS13は未対応です)

ファイルをプリンタへ転送

コマンドファイルをバーコードプリンタへ送信することができます。

ロギングオプション

印刷ジョブのログをファイルに記録することができます。

・テスト

リボン設定

リボンモータの駆動電圧を調整する場合、[設定]チェックボックスをチェックします。印刷中にリボンにシワが発生し、印刷結果に支障を来す場合にリボンモータの駆動電圧を調整します。通常はチェックしないようにしてください。

フィード

「フィード」ボタンを押すことにより、用紙を1枚紙送りします。

カット

カッターモジュールの動作確認を行ないます。

プリンタが記憶している印刷条件で紙送り後、カットします。

フラッシュメモリの初期化

フラッシュメモリの領域を選択して初期化(フォーマット)します。

印字開始位置微調

本機能は未対応です。

リセット

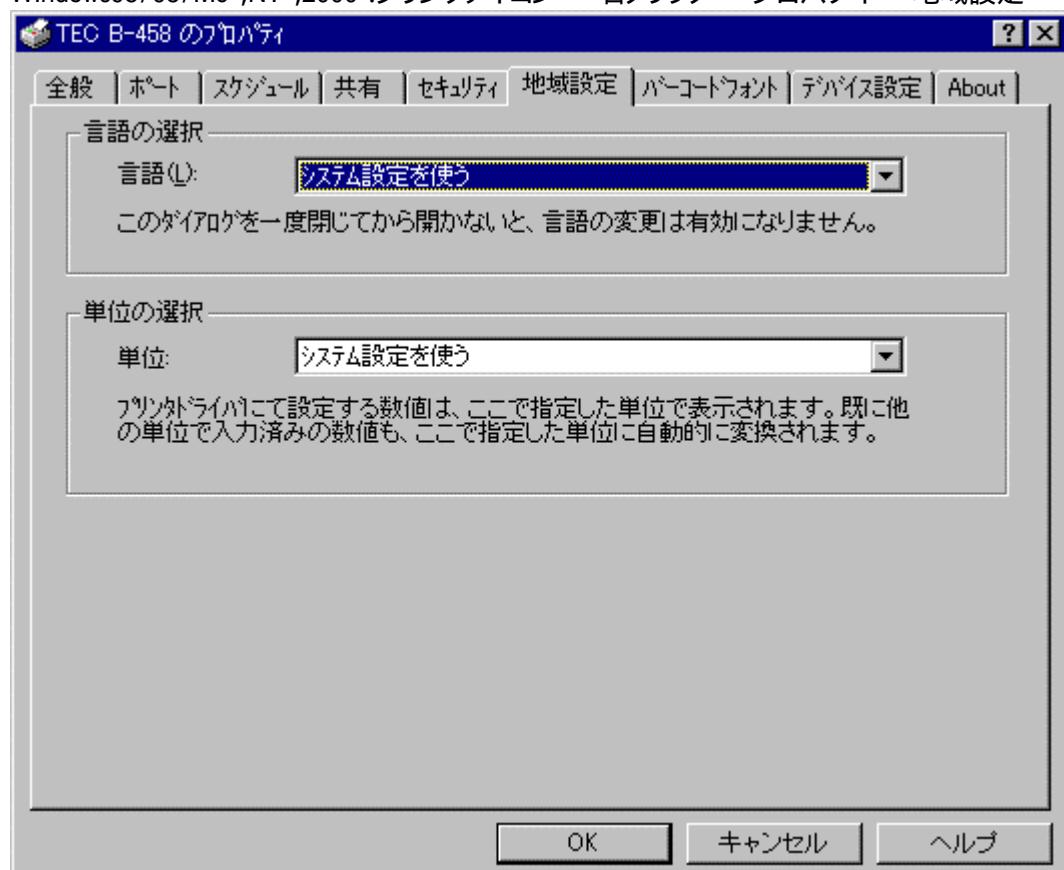
“リセット”ボタンにより、バーコードプリンタをリセットします。

(プリンタとPCをRS-232Cで接続した場合のみ機能します。)

3.6 地域設定

「地域設定」タブをクリックして、プリンタドライバの表示言語と単位を設定します。

Windows95/98/Me, NT, 2000 : プリンタアイコン 右クリック プロパティ 地域設定



(WindowsNT4.0での画面例)

言語の選択

“システム設定を使う”, “英語”, “日本語”から選択します。

単位の選択

“システム設定を使う”, “インチ”, “ミリメートル”, “センチメートル”から選択します。

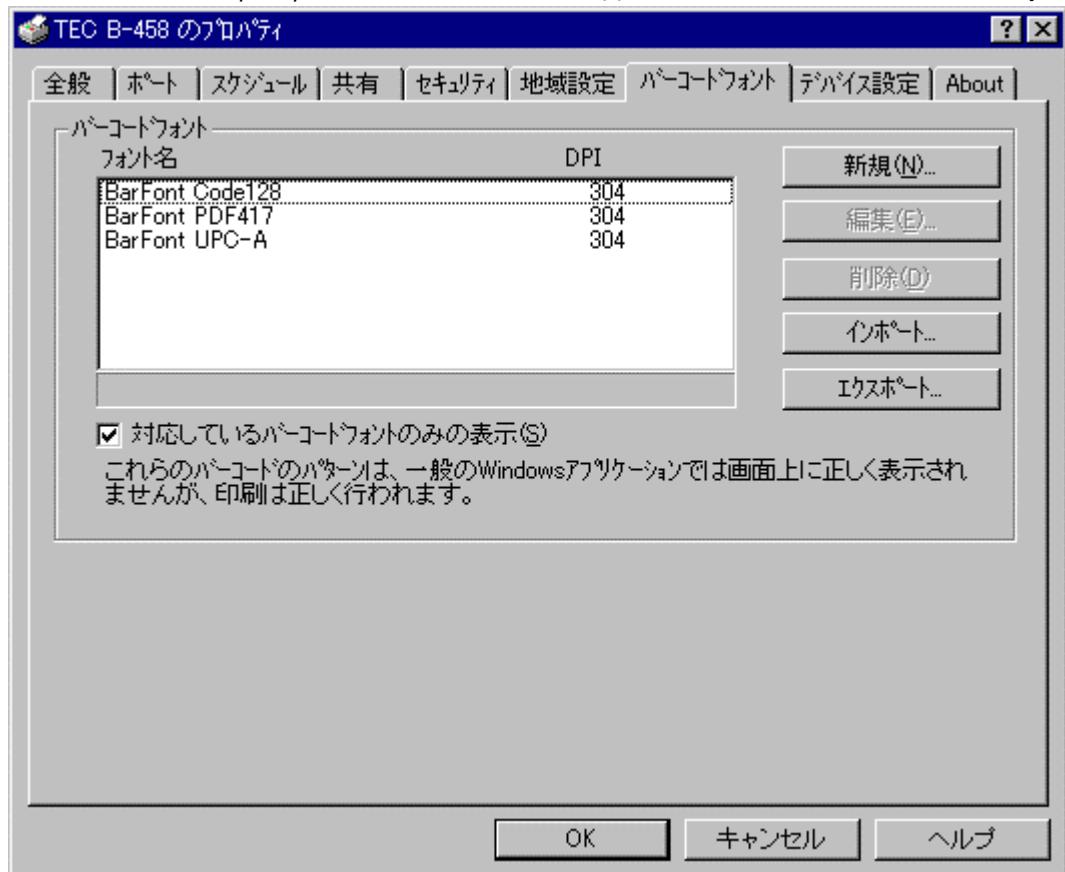
3.7 バーコード設定

「バーコードフォント」タブをクリックして、バーコードのデバイスフォント登録を行います。

アプリケーションで使用するバーコードがリストにない場合、[新規]ボタンを押して、「バーコードフォントの編集」ダイアログボックスにてバーコード種類、比率、細バーの長さなどを設定して追加登録する必要があります。同じバーコード種類でも細バー／太バーの幅が違うバーコードを使う場合、それぞれバーコードフォント名を変えて登録してください。

注) B-458-HS13用 銘板 シールプリントシステムをご使用になる場合、本バーコード設定による設定は必要ありません。

Windows95/98/Me, NT, 2000: プリンタアイコン 右クリック プロパティ バーコードフォント



(WindowsNT4.0での画面例)

フォント名ウィンドウ

このウィンドウには、登録済みバーコードフォントの名称とそのバーコードのDPI (dots per inch) のリストが表示されます。

バーコードフォント新規登録、編集、削除

「新規」、「編集」、「削除」の各ボタンにより、バーコードフォントのメンテナンスを行います。

「バーコードフォントの編集」を参照

バーコードフォントの登録数の制限はありません。

バーコードフォントのインポート、エクスポート

東芝テック製バーコードプリンタのプリンタドライバをインストールした他のPCと、バーコードフォント情報データ (*.sfm) を、インポート(読み込み)及びエクスポート(読み出し)できます。(ロングファイル名(9バイト以上)は未対応)

対応しているバーコードフォントのみの表示

「対応しているバーコードフォントのみの表示」をチェックすると、デバイスフォントとして登録されているバーコードフォントのうち、ヘッド密度に合ったバーコードだけ表示します。

注) 共有プリンタへ印刷する場合、印刷指示を行うクライアントPCと共有プリンタを設定したPCそれぞれに、「バーコードフォント」を登録してください。共有プリンタ側にだけ「バーコードフォント」を登録しても、クライアント側と「バーコードフォント」を共有して使用することはできません。

バーコードフォントの編集

「バーコードフォント」タブの「新規」または「編集」ボタンにより、バーコードフォントの編集を行います。



フォント名

「新規」の場合、バーコードフォントの名前を任意につけることができます。（カタカナ、漢字は不可）

バーコードイメージの表示

「バーコードフォントとして表示」をチェックすると、アプリケーション内で文字テキストにバーコードフォントを指定した場合、画面上バーコードを連想するイメージ表示を行います。（バーコードが正しく表示されるわけではありません）

実際幅の表示

「実際幅の概算」をチェックすると、アプリケーション内で文字テキストにバーコードフォントを指定した場合、画面上バーコード幅を考慮したサイズで表示されます。

バーコード種類

「コード種類」にて、バーコードまたは2次元コードの種類を選択します。

コード種類:

‘Code-39 Full ASCII’ , ‘Code-39’ , ‘Code-93’ , ‘Code-128’ ,
‘Codabar (NW-7)’ , ‘インターリーフト 2of5 (TF)’ , ‘MSI Plessey’ ,
‘UPC-A’ , ‘UPC-E’ , ‘EAN/JAN-13’ , ‘EAN/JAN-8’ ,
‘PDF417’ , ‘Data Matrix (データコード)’ , ‘Maxi Code’ , ‘QRコード’ ,
‘Micro PDF417’ , ‘US POSTNET’ , ‘Royal Mail 4-State Customer Code’ ,
‘Japanese 4-State Customer Code’ , ‘KIX 4-State Customer Code’

単位幅設定

“細バー/セルの寸法”にて、細バーまたは1セルの長さを設定します。（バーコードプリンタの機種や選択したコード種類により異なります）

補足 バーコードの高さは、アプリケーションのフォントのサイズ指定により調整できます。

バー下数字

“あり(バーコード下部)”, “なし”を選択します。（コード種類により設定できない場合があります）

バーコードの印刷の向き

“0”, “90”, “180”, “270”から選択します。

比率

細バー 太バーの比率を、“自動”または各比率から選択します。（コード種類により設定できない場合があります）

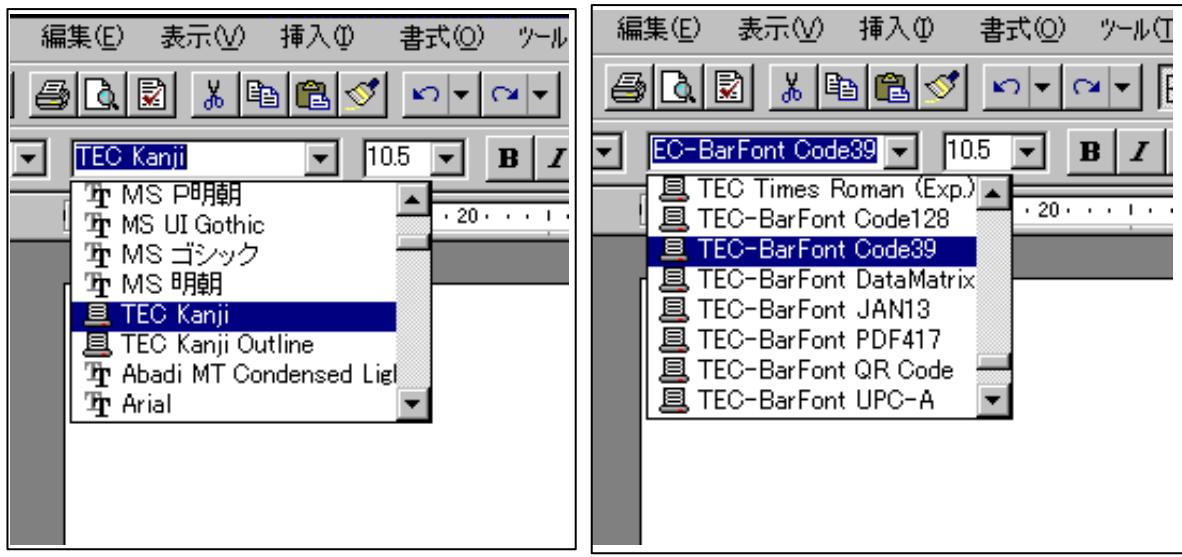
コード固有のオプション

“コード固有のオプション”では、選択したコード種類固有の項目を、設定できます。

3.8 プリンタフォントの指定

アプリケーションにおいて、バーコードプリンタに内蔵する文字フォントや、バーコード・2次元コードを使用するには、文字(数字)データのフォント種類を“TEC Kanji”などのバーコードプリンタのプリンタフォントに指定してください。

アプリケーション上のフォント選択画面例



< 文字フォント >

< バーコードフォント >

- ・東芝テック製バーコードプリンタのプリンタフォント(バーコード・2次元コードフォント)の名称には、“TEC Kanji”のように頭に“TEC”という名がついています。
- ・“TEC ****”フォントを選択すると、画面上は印刷結果とは異なる表示ですが、プリンタ内蔵フォントにより印刷されます。
- ・プリンタフォントを使用すると、印刷スループットの向上が見込まれます。
- ・アプリケーション上に表示されるプリンタ文字フォント(バーコード含む)は、実際に印字される文字、バーコードと異なっています。大きさも実寸と異なっています。
- ・“TEC Kanji Outline”漢字アウトラインはB-374,B-474,B-874にオプション品として設定されています。

バーコードフォントプログラミング例(Visual Basic)

登録されているバーコードフォントのフォント名が“BarFont Code39”的場合の記述例。

```
Private Sub Command1_Click()  
    Printer.FontName = "TEC-BarFont Code39"  
    Printer.FontSize = 36  
    Printer.FontBold = False  
    Printer.FontItalic = False  
    Printer.CurrentX = 1000  
    Printer.CurrentY = 1000  
    Printer.Print "1234567"  
  
    Printer.EndDoc  
End Sub
```

バーコードフォントの制限事項

- ・アプリケーションによっては、バーコードフォントが文字種類のリストに表示されない場合があります。
アプリケーションがプリントフォントに対応していることを確認してください。
- ・アプリケーションのドキュメント上には、バーコードは表示されません。文字または記号で表示されます。
- ・バーコードの回転を指定すると、アプリケーションから指定した位置と実際に印刷される位置が異なります。
実際に印刷して位置関係を調整下さい。
- ・バーコードの高さは文字サイズのポイント数で指定します。
下記以外のポイント数を指定した場合は、下記のポイント数に置き換えられるか、または、他の文字フォントに置き換えられ、バーコードが印刷されない場合があります。

ポイント数	バー高さ (mm)
8	2.8
9	3.2
10	3.5
11	3.9
12	4.2
14	4.9
18	6.4
24	8.5
30	10.6
36	12.7
48	16.9
60	21.2
72	25.4
108	38.1
144	50.8
180	63.5
216	76.2

漢字フォント“TEC Kanji”の指定サイズと実際に印字される文字サイズの比較表

単位: ポイント

B-374/474/874/484, CB-418-T3		B-458-TS, B-433-TS, B-858	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ~ 2.0	1.9	1.0 ~ 2.5	1.9
2.5 ~ 3.0	2.8	3.0 ~ 3.0	2.9
3.5 ~ 5.0	3.8	3.5 ~ 5.0	3.8
5.5 ~ 6.5	5.7	5.5 ~ 7.0	5.8
8.0 ~ 8.0	7.5	7.5 ~ 8.0	7.5
8.5 ~ 10.0	8.5	8.5 ~ 10.5	8.6
10.5 ~ 14.0	11.3	11.0 ~ 14.0	11.5
14.5 ~ 16.0	15.1	14.5 ~ 16.5	15.4
16.5 ~ 21.5	16.9	17.0 ~ 21.5	17.3
22.0 ~ 27.0	22.6	22.0 ~ 27.5	23.0
27.5 ~ 32.5	28.2	28.0 ~ 33.0	28.8
33.0 ~ 49.5	33.9	33.5 ~ 50.0	34.6

B-433-GS		B-458-HS	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ~ 3.5	2.8	1.0 ~ 1.0	1.0
4.0 ~ 5.0	4.3	1.5 ~ 1.5	1.4
5.5 ~ 7.5	5.7	2.0 ~ 2.5	1.9
8.0 ~ 10.0	8.5	3.0 ~ 3.5	2.9
10.5 ~ 12.0	11.4	4.0 ~ 4.0	3.8
12.5 ~ 15.5	12.8	4.5 ~ 5.0	4.3
16.0 ~ 21.0	17.0	5.5 ~ 7.0	5.8
21.5 ~ 24.5	22.7	7.5 ~ 8.0	7.7
25.0 ~ 32.0	25.5	8.5 ~ 10.5	8.6
32.5 ~ 40.5	34.1	11.0 ~ 13.5	11.5
41.0 ~ 49.0	42.6	14.0 ~ 16.5	14.4
49.5 ~ 74.5	51.1	17.0 ~ 25.0	17.3

4. システム構成

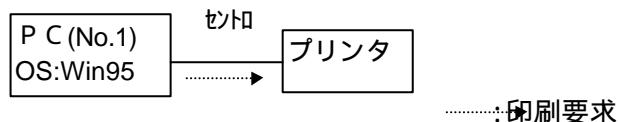
本プリンタドライバは、以下のようなシステム構成でご利用いただけます。

項目説明

PC :	DOS / V機 (BM PC-AT互換機)
WinNT :	Microsoft Windows NT 4.0 / 2000
Win95 :	Microsoft Windows 95 / 98 / Me
プリンタ :	東芝テック製バーコードプリンタ
セントロ:	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー:	EtherNet用プリンタ・サーバー機器 (B-458-TSの場合、オプションLAN接続ボードを使用可能、 B-484/ B-858の場合、オプションPCMCIAボードとLANカードを使用可能)

プリンタドライバのインストール方法の詳細は、「2. インストール手順」をご覧ください。

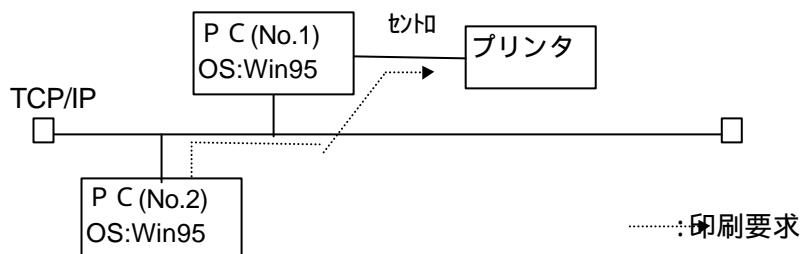
例1】



設定 :

PC (No.1)にWin 95対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートはLPT1 (Local Port)に指定する。)

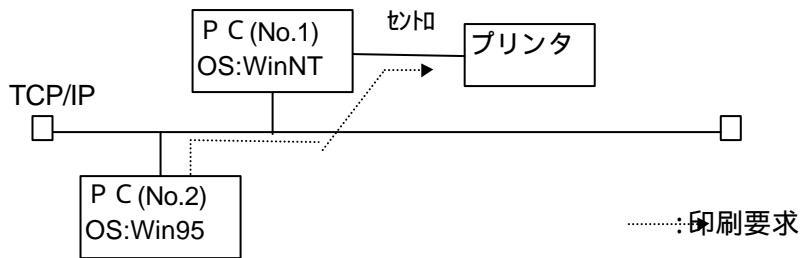
例2】



設定 :

PC (No.1)にWin 95対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートはLPT1 (Local Port)に指定する。)
PC (No.1)のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
PC (No.2)にWin95対応プリンタドライバを、PC (No.1)に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

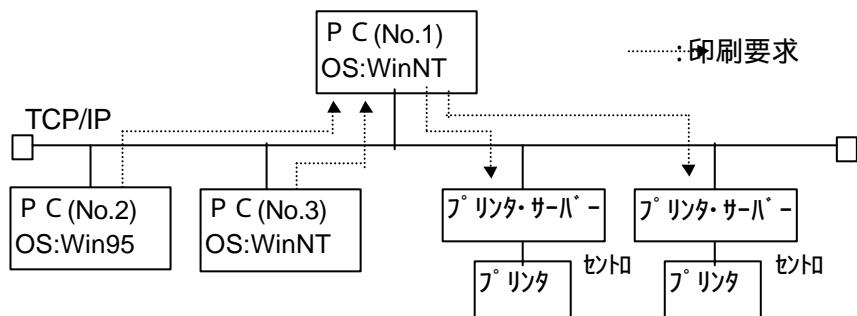
【例3】



設定 :

- PC (No.1) に Win NT 対応 プリンタ ドライバ をインストールする。
(印刷する ポート は LPT1 (Local Port) に指定する。)
- PC (No.1) の プリンタ を プリンタ の プロパティ にて 共有 プリンタ に指定する。
- PC (No.2) に Win95 対応 プリンタ ドライバ を、PC (No.1) に 接続された プリンタ の ネットワーク パス を指定し ネットワーク プリンタ として インストール する。

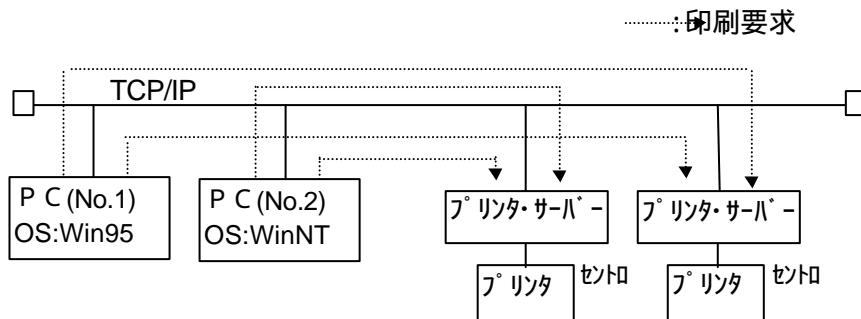
【例4】



設定 :

- PC (No.1) に Win NT 対応 プリンタ ドライバ を プリンタ 台数 分 インストール する。
- PC (No.1) に インストール した プリンタ ドライバ の プロパティ にて、 プリンタ サーバー の アドレス を 指定し LPR Port を 追加 する。
(LPR Port の 追加 は、 ネットワーク サービス (Microsoft TCP/IP 印刷) を インストール 後、 プリンタ の プロパティ の [ポート] タブ の [ポート の 追加] ボタン にて 行なう。)
- PC (No.1) の プリンタ を プリンタ の プロパティ にて 共有 プリンタ に指定する。
- PC (No.2) に Win95 対応 プリンタ ドライバ を、PC (No.1) に 接続された プリンタ の ネットワーク パス を指定し ネットワーク プリンタ として インストール する。
- PC (No.3) に Win NT 対応 プリンタ ドライバ を、PC (No.1) に 接続された プリンタ の ネットワーク パス を指定し ネットワーク プリンタ として インストール する。

【例5】



設定 :

- PC (No.1)にWin95対応プリンタドライバをインストールする。
- プリンタ・サーバーのアドレスを指定したLPR Port を追加する。
(LPR Portの追加は、プリンタ・サーバーの設定ユーティリティ等の他のソフトウェアにて行なう。)
- PC (No.1)の印刷先のポートを で追加したLPR Port に指定する。
- PC (No.2)にWin NT対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。
- PC (No.2)にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定したLPR Port を追加する。
(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷)をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- PC (No.2)の印刷先のポートを で追加したLPR Port に指定する。

注意

- 【例 5】のように、1台のプリンタに対し複数のクライアントPCから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“コマンドエラー”が発生し、正しく印刷されない場合があります。
1台のプリンタで複数クライアントからの印刷を行う場合、【例 4】の構成をお勧めします。

Windows2000においてLPR Portを追加するには、“UNIX用印刷サービス”を追加してから設定してください。

本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows9X/Me/NT/2000**対応**
B-374,B-474,B-874,B-433,B-458,B-484,B-858,CB-418-T3
プリンタドライバ概略説明書

2001年 7月 第6版 発行

WBX8Z3106

発行 東芝テック株式会社
流通情報システムカンパニー
〒103-8482 東京都中央区日本橋浜町3-21-1

©TOSHIBA TEC CORPORATION,1999 - 2001

無断複写及び転載を禁ず